

令和6年度「#あおばな in 八戸聖ウルスラ学院高校」開催概要

県内の高校生の皆さんに、知事との意見交換を通して県政を身近に感じてもらうとともに、新鮮な意見・発想や県政に対する期待等を把握し、開かれた県政の推進と今後の県政運営の参考にするため、県民対話集会「#あおばな～青森・未来・対話～」を下記のとおり開催しました。

○日時：令和6年6月24日（月）10：30～12：00

○場所：八戸聖ウルスラ学院高等学校 第一体育館

○参加学生：495名

- ・第1学年 166名、第2学年 162名、第3学年 146名
- ・八戸聖ウルスラ学院中学校第3学年 21名

<生徒との意見交換>

代表生徒からの意見について知事と対話をしました。

- ①人口減少対策としての企業誘致について
- ②学校での授業のあり方と教育改革について
- ③政治家のやりがいと魅力、若者の政治参加について
- ④地域で活動する団体のネットワーク化について
- ⑤青森県が日本や世界で評価されるための政策と若者に期待することについて
- ⑥学生と地域との関わりについて

上記に係る意見交換の後、約30名の生徒が参加し、野球ボールを使ったゲームを実施して、対話の重要性について考えました。

※知事から生徒へのコメントの一部を紹介します。

- ・就職先を考えるに当たり、肝心なのは、皆さんが今の青森のことを知っているかということ。学習を通じて、青森県の良さ、青森県の企業、仕事をもう少し知ってほしい。
- ・人は生きていく中で成長し続けなければいけない。人が成長するための要素としては3つあると思う。1つ目は本を読むこと。教科書の勉強だけではなく、自分で獲得していく学びのこと。2つ目は旅をすること。いろんなところに行って、いろんなことを見ること。世界は広い。3つ目は人と会うこと。
- ・本は過去を教えてくれる。旅は今を教えてくれる。人は皆さんに未来を提示してくれる。学校や家から一歩外に出れば、大きな世界が広がっている。ぜひ勇気をもって、ボランティア活動などやってほしい。

